

研修におけるコロナウイルス感染症への対応

★事務局での取り組み

- 1, 会場内外には必ず手指消毒用のアルコールを設置します。
- 2, 出欠確認の際に検温と健康確認表の提示をお願いします。
- 3, 不特定多数の方が触れる箇所は、消毒液で拭き取り、休憩毎にも消毒します。
- 4, 研修中はこまめな換気を実施します。
- 5, 受講される方同士の距離を、可能な限り広く確保します。

★研修参加者へのお願い

- 1, 受講中は全員、マスクの着用をお願いします。マスクは受講生自身で用意をお願いします。授業形態によりフェイスシールドを使用する場合は受講者自身にて準備をお願いします。講師もマスクを着用します。聞き取りにくい場面が生じる可能性があります、ご理解をお願いします。
- 2, 自宅にて検温をして受講時に受付の健康確認表へ氏名と体温の記入をお願いします。
- 3, 入り口で手指のアルコール消毒をしてから入室してください。
- 4, 風邪の症状や熱が $37,5^{\circ}$ 以上ある場合は、参加せず休んで下さい。その際、主治医に相談するか、管轄市町村の保健所に連絡し相談してください。又、大阪介護福祉士会にも連絡を入れてください。
- 5, 昼食は、対面での飲食は避け、食べ終わってからマスクを着用しての会話をお願いします。
- 6, 研修終了後に、新型コロナウイルス特有の症状が出た場合には、速やかに大阪介護福祉士会までご連絡をお願いします。